

美術研究科工芸専攻

養成人材およびカリキュラム編成の方針

工芸専攻は、基本的な知識と技術を基に、現代の多様化する社会における価値観や技術を吸収し、さらなる発展をなし得る能力を身につけたアーティストを養成します。さらに工芸分野における研究者の育成も目指しています。工房制作を中心とした少人数制による個人指導のもと、より高度で専門的な知識習得と実技修練、学生が個々に持つ創造性の開発を図るカリキュラム編成となっています。また、グローバル人材の育成のために国際交流や地域連携にも力を入れ、工芸専攻としての特色を活かした研究活動や社会活動にも積極的に参加できるよう学生を支援しています。

求める入学者像

- ・研究分野の素材に関心があり、工芸及び美術作品やデザインに興味のある人
- ・手仕事による制作に興味があり、専門家（作家、起業家、デザイナー）を目指している人
- ・伝統と現代双方に関心を持ち、物事を客観的に捉えられる人
- ・工芸教育に理解を持ち、社会や地域に貢献することに意欲のある人
- ・日本文化や他国の文化に関心があり、グローバルな視野を求めている人

卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「修了制作」を含めた所定の単位を修得した学生を修了と認め、修士の学位を授与する。

カリキュラム構成

修士課程は、学生の研究テーマによって研究・制作が進められ、幅広い知識、より高度な専門性、独自性を探求します。

さらに、社会との連携プログラムも組み込まれるなど、より高度な教育を行います。

2年次には修了制作に取り組み、研究成果を発表します。

教育目標

- ①研究テーマに即した専門技術・知識の研究。
- ②素材と技術から発展していく独自の表現の創造。
- ③国内外の文化の理解と交流の取り組み